2026 年 4 月発行

データベース利用ガイド

「データベース」とは、コンピュータ上でデータを効率的かつ整理された方法で保存・管理するシステムのことで、その中から必要とする情報を容易に探し出すことができます。
例えば過去の新聞記事を探したい時、当時の新聞を一枚一枚めくらなくても、検索ボックスに語句を入れるだけで、その語句を含んだ記事を簡単に見つけ出すことができます。

図書館では様々なデータベースを契約しています。それぞれのデータベースの特性を知っておくと、レポートや卒業論文の資料集めがスムーズに行えます。

この「データベース利用ガイド」は、目的ごとにデータベースを一覧にしています。

それぞれのデータベースの特徴などを参考に「資料を探す方法の一つ」として、ぜひ情報収集に役立ててください。

Web 情報についての注意点(データベース以外)

① Web にはアップされていない情報あり（研究者・専門家の研究成果など）
② 削除・書き換えあり（内容が変更されるため、情報源としての信頼性が低い）
③ 情報の正誤を判断しづらい（誤った情報を入手してしまう可能性あり）

データベースを利用するには・・・

図書館ホームページ上部にある
データベースサービス にカーソルを合わせ、表示されたメニューの中から調べたいものをクリックします。

調べたい、探したい情報に応じて使うデータベースが変わります。
上手に使い分けましょう。

データベース一覧

※ログイン人数（2026 年 4 月現在）

[人物情報・新聞記事・雑誌記事]

- NICHIGAI／WEB サービス
  - MAGAZINEPLUS
  - WHOPLUS ※5 人
- 日経テレコン 21
- 日経 BP 記事検索サービス
- 東洋経済デジタルコンテンツライブラリー
- ヨミダス
- 中日新聞・東京新聞記事検索データベース ※4 人
- 朝日新聞クロスサーチ ※4 人
- 大宅壮一文庫雑誌記事索引 ※1 人
- 雑誌記事索引集成データベース ※1 人
- 毎索（マイサク）※4 人
- 教育新聞
- 日本教育新聞
- スポーツ産業史データベース
- 「日本心霊」デジタルアーカイブ(社会文化史データベース)

[論文]

- CiNii Research
- J-STAGE
- サイエンス・ダイレクト
- JDreamⅢ ※2 人
- メディカルオンライン
- 医中誌 Web ※2 人

[企業情報] 有価証券報告書

- eol （三好キャンパスのみ利用可）※1 人

[事典・辞典・法律]

- ジャパンナレッジ Lib ※4 人
- D1-Law 第一法規法情報総合データベース ※2 人
- 人物レファレンス辞典 ※1 人
- ブリタニカ・オンライン・ジャパン
- TAINS（タインズ）日税連税法データベース ※10 人
- 児童文学・ヤングアダルト ※1 人

【お願い】

データベース画面上に「ログアウト」ボタンがある場合は、
終了時に　必ず「ログアウト」をお願いします。
そのまま「×」で終了してしまうと、一定時間　次の方が利用できなくなります。

例：

※表示は各データベースで異なります。

論文とは何か

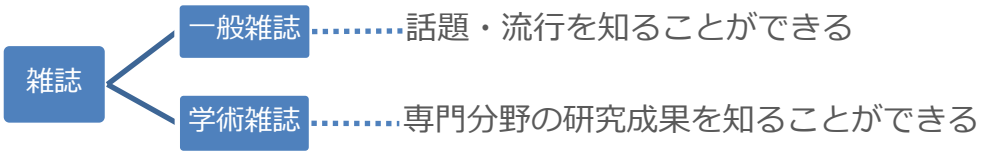
ある事柄について、自分の意見や研究した結果を、筋道を立てて述べた文章のこと。
論文は、"学術雑誌"や"紀要"（大学が発行する、研究論文・報告等を掲載した雑誌）に掲載されます。

「論文」と「記事」の違い
- 論文…研究成果（結論があるもの）
- 記事…情報提供・発信されたもの(聞き取り、取材して書いたもの)

なぜ論文は必要か？

レポート・卒業論文（卒業研究）で「自分が取り組むテーマについて、どんな研究が行われているかを知ることが大切」だからです。

雑誌の特徴



★特徴：
1. 同じタイトルで何冊も発行される
2. 定期的に発行される
3. 通し番号（巻号・通巻）がつく
4. 1 冊の中に複数の論文・記事が掲載されている

論文を探す時に必要な情報

① 論文名　：タイトル
② 著者名　：書いた人の名前
③ 雑誌名　：掲載雑誌のタイトル
④ 巻号　　：掲載雑誌の巻号
⑤ ページ　：掲載ページ
⑥ 発行年　：掲載雑誌が発行された年月日

重要!

参考文献として記載する時にも①～⑥は必要です。
必ずメモしておきましょう!!

論文を入手する３つの方法

方法①
Web 上で本文を入手する

無ければ

方法②
本学図書館で論文が掲載されている雑誌から入手する

無ければ

方法③
他の図書館から取り寄せる
⇒文献複写申し込みについて (p.5)参照

文献複写申し込みについて

本学図書館で所蔵していない文献を入手できるサービスです。
文献を持っている別の図書館に依頼を出し、複写（コピー）を郵送してもらいます。

※このサービスはコピー料金と送料が必要です。
※取り寄せには１週間から１０日程かかります。

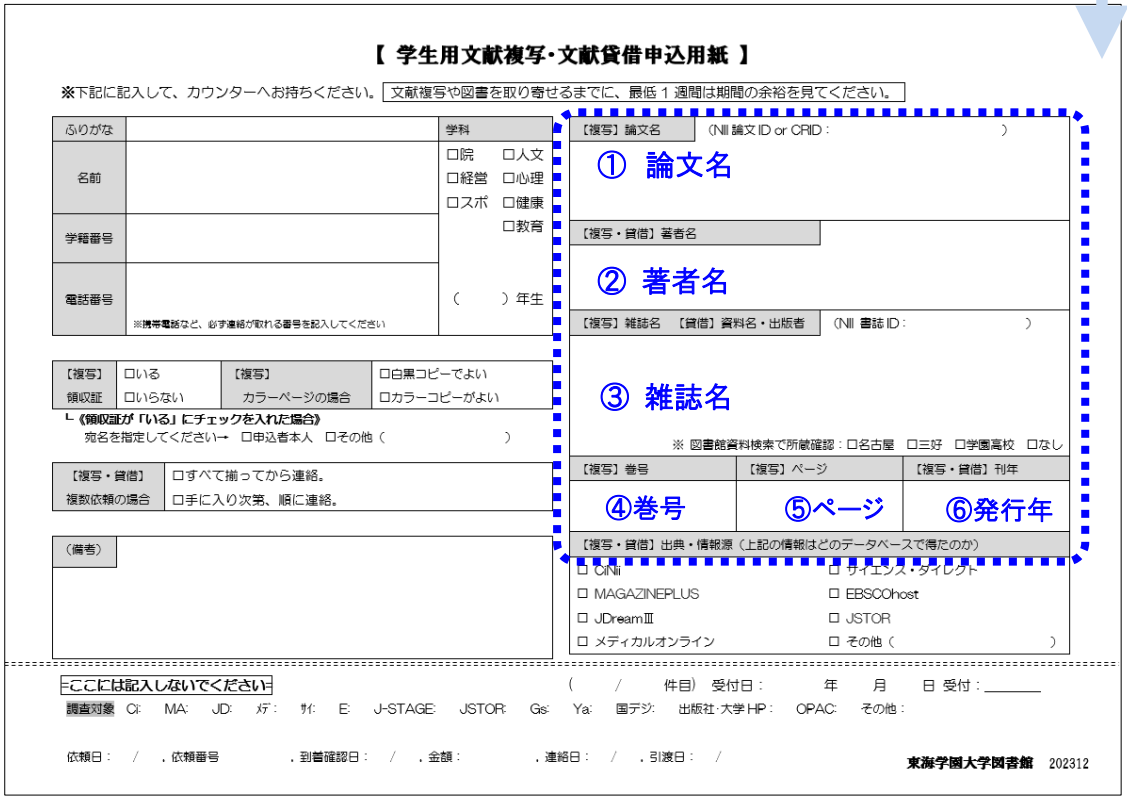
★申込方法

１．申込む文献の情報（下記）を確認します。 → “データベース”等を使って調べます。

論文を探す時に必要な情報

①論文名　：タイトル
②著者名　：書いた人の名前
③雑誌名　：掲載雑誌のタイトル
④巻号　　：掲載雑誌の巻号
⑤ページ　：掲載ページ
⑥発行年　：掲載雑誌が発行された年月日

２．1F 図書館カウンターで申し込みます。
申込用紙に必要事項を記入していただくか、
”論文を探す時に必要な情報”が印刷された物を一緒にお持ちください。
申込の際には、確認事項もありますので、時間に余裕を持って来館してください。



【 学生用文献複写・文献貸借申込用紙 】

※下記に記入して、カウンターへお持ちください。 文献複写や図書を取り寄せるまでに、最低 1 週間は期間の余裕を見てください。

ふりがな / 名前 / 学籍番号 / 電話番号（※携帯電話など、必ず連絡が取れる番号を記入してください）
学科：□院 □人文 □経営 □心理 □スポ □健康 □教育
（ ）年生

【複写】領収証：□いる □いらない
【複写】カラーページの場合：□白黒コピーでよい □カラーコピーがよい
└《領収証が「いる」にチェックを入れた場合》
宛名を指定してください→ □申込者本人 □その他（ ）

【複写・貸借】複数依頼の場合：□すべて揃ってから連絡。 □手に入り次第、順に連絡。

（備考）

【複写】論文名 （NII 論文 ID or CRID： ）
① 論文名

【複写・貸借】著者名
② 著者名

【複写】雑誌名 【貸借】資料名・出版者 （NII 書誌 ID： ）
③ 雑誌名

※ 図書館資料検索で所蔵確認：□名古屋 □三好 □学園高校 □なし

【複写】巻号 ④巻号
【複写】ページ ⑤ページ
【複写・貸借】刊年 ⑥発行年

【複写・貸借】出典・情報源（上記の情報はどのデータベースで得たのか）
□ CiNii □ サイエンス・ダイレクト
□ MAGAZINEPLUS □ EBSCOhost
□ JDreamⅢ □ JSTOR
□ メディカルオンライン □ その他（ ）

=ここには記入しないでください=
（ / 件目） 受付日： 年 月 日 受付：＿＿＿
調査対象 Ci: MA: JD: メデ: 外: E: J-STAGE: JSTOR: Gs: Ya: 国デジ: 出版社・大学 HP: OPAC: その他：
依頼日： / ．依頼番号 ．到着確認日： / ．金額： ．連絡日： / ．引渡日： /
東海学園大学図書館 202312

３．図書館から「文献複写到着」の連絡を受けたら、代金を用意して早めに図書館へ来て下さい。

４．代金を支払い、文献複写を受け取ります。

S.F.X について（その 1）

★S.F.X.とは：

各種文献データベース、電子ジャーナル、図書館資料検索などのツールをリンクさせたシステムです。（リンクリゾルバとよばれるシステムの一つ）
S.F.X.を使うことで、フルテキストを見ることができるリンク先や、記事・論文が掲載されている雑誌が、本学図書館に所蔵しているかを調べることができます。
さらに Google Scholar 等 Web による関連事項の検索も可能です。

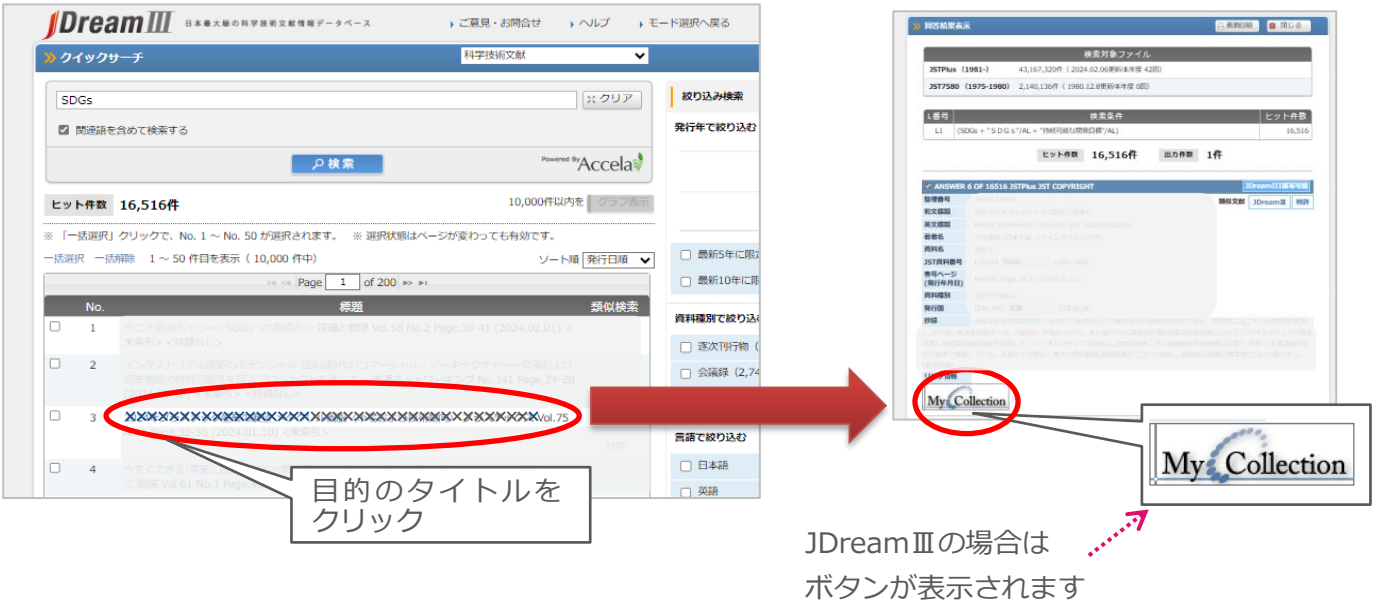
★使い方：

データベースで検索した際に表示される 東海学園大学 フルテキストを見る S.F.X. や 東海学園大学 フルテキストを見る ボタンをクリックすると、S.F.X.の画面になります。

【CiNii　Research】

S.F.X.の画面については
次のページへ

【JDreamⅢ】



JDreamⅢの場合は
ボタンが表示されます

S.F.X について（その 2）

【SFX の画面】

学内に掲載資料がない場合は、他の図書館から取り寄せることができます。
詳しくは →p.5 **文献複写申し込みについて** へ。

プリモ
Primo(学術情報検索)利用ガイド

「Primo」とは、主要な学術出版機関から文献情報や論文フルテキストの提供を受けて作成されている巨大な学術情報統合インデックスです。(フリーで提供されているものも含む)
一つの検索ボックスから多種多様の学術情報を一括検索できます。

例えば資料の形態にこだわらず情報を集めたい時に、Primo の検索ボックスにキーワードを入力するだけで、それを含んだ図書や雑誌記事、デジタル資料をまとめて見つけ出すことができます。ぜひ情報収集に役立てて下さい。

Primo を利用するには・・・

【図書館ホームページトップ画面】

図書館ホームページへアクセスし、

をクリックして下さい。

【Primo の検索窓】

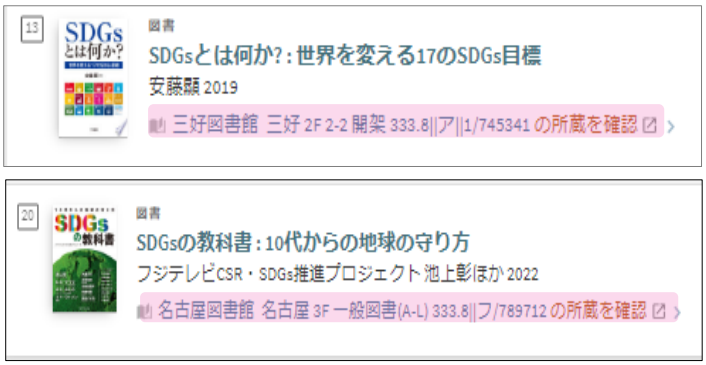
キーワードを入力し、

をクリックして下さい。

【検索結果】

入力したキーワードに該当する図書や雑誌記事、デジタル資料が検索されてきます。

例）本学で所蔵している資料が検索された場合



所蔵　　をクリックすると、
OPAC(本学所蔵検索)で所蔵を確認できます。

例）本文ありの場合

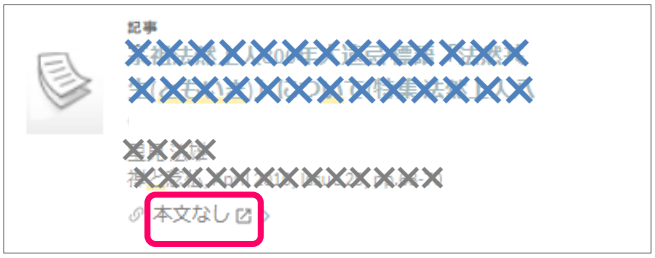
「本文あり」をクリックすると、
オンライン上で本文を閲覧できます。

もしも「本文あり」をクリックして、こんな画面になったら…
(複数のオンラインが該当してくる場合があります)

どれか 1 つを選び、GO を
クリックすると、本文を閲覧することができます。

ID やパスワードを入力する画面になった場合は、図書館にご相談ください。

例）本文なしの場合



「本文なし」をクリックすると、
論文フルテキストへのリンクや
本学の所蔵を確認できます。
詳しくは→p.6「S.F.X.について」へ

該当がない場合は、他の図書館から取り寄せることができます。
詳しくは→p.5「文献複写申し込みについて」へ

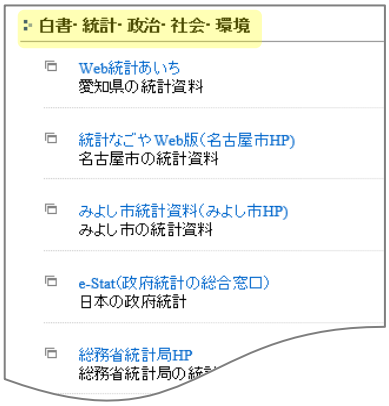
リンクからデータを調べる

図書館では、信頼のおける情報源のサイトを厳選し、図書館ホームページにて
カテゴリー別に紹介しています。これらのサイトは自宅やスマホからも利用可能です。
データ収集などにぜひ活用してみてください。

リンクを利用するには・・・

図書館ホームページへアクセスし、
「リンク」にカーソルを合わせて
調べたいメニューをクリックします。

★国や自治体が発表している各種統計データ等を調べたい時は・・・



メニューから**「白書・統計・政治・社会・環境」**を
クリックします。

政府が発表している統計データや白書、報告書など
信頼できるデータを集めたサイトをまとめました。

★特定の分野の調査データ等を調べたい時は・・・

調べたい分野に近いものを選んで活用してください。
様々な分野の、調査データを公開している団体等のサイトをまとめました。

「こういうデータが欲しいが、リンクから見つけられない」など、困ったときは図書館にご相談ください。